

明治三十五年

十
五
年

MT.

513-4

710

5-0068

0070

第五年四月十六日接受

編纂
委員
閣了

次官
印

在マニラ本日領事館

第
一
門

政務局

業
口

受第
四
五
二
一
號

公位第...
本月十号...
訪問...
官...
此...
在...
領事...
代理...
外務次官林董殿

第五年四月十八日

M.T.

513-4

711

5-0068

0071

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

H. I. JAPANESE M'S. CONSULATE.



Melbourne, 21st December 1891.

No. 29.

His Excellency,
The Vice Minister of State
for Foreign Affairs, Tokyo.

Japan.

Your Excellency.

I beg to inform you that
H. I. M. S. Heiji arrived safely at Sydney.
I went to that place and met the vessel,
and placed my services at Captain
Mori's disposal. The Heiji will
leave Sydney on the 27th inst and
is expected to arrive here on the
first (1st) January—

With much respect
Your Excellency's
Very Obedient Servant
A. Marks.
H. I. M. Consul.

會
五
年
一
月
十
四
日
發



第
一
五
〇
一
號

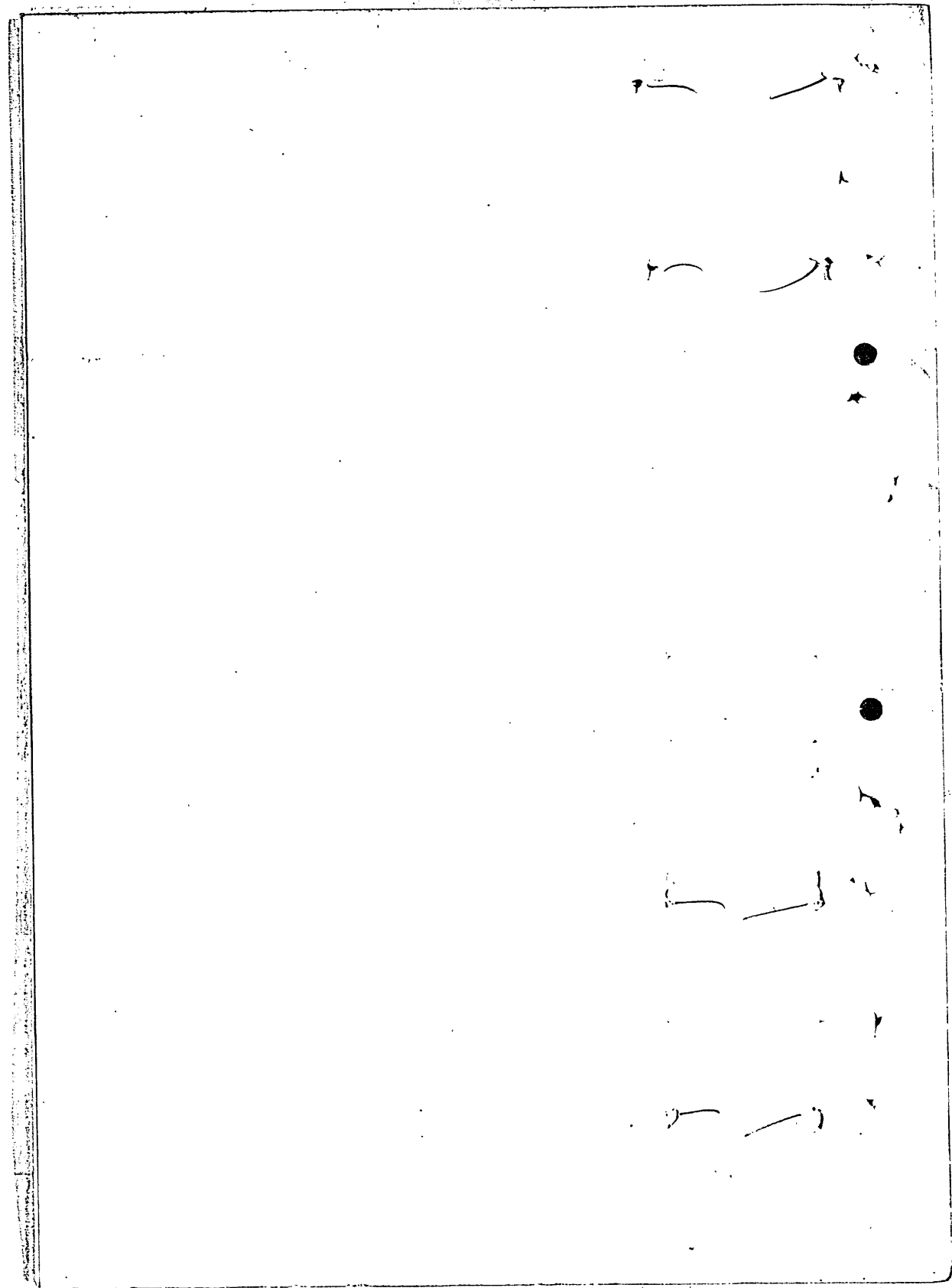
MT.

513-4

712

5-0068

0072



5-0068

0073

廿九年十一月十四日接受

主 管

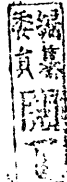


原

10号、船中地蔵堂、多のあり、船中、14/1

公債第一一四

受第一一四六五號



軍部を以て南洋に由りての... 年九月廿五日... 船中... 在来港日本領事館

昭和九年十一月廿二日

在来港

理事 松田 隆



公債第一一四六五號

MT.

513-4

714

MT.

513-4

713

5-0068

0074

封筒開了

二十五年十一月十六日達藤井

三五七二四一五号

封書 藤井

封筒

封筒

送第一四九號

外務省

海軍大臣官舎
子に於て

軍艦多岐遠洋航海任務

多岐遠洋航海任務

外務省

破申進了

多岐遠洋航海任務

MT

513-4

716

MT

513-4

715

5-0068

0075

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

廿一年十一月廿八日接受

主 管 政 務 局



文 第 一 四 〇 七 九 號

第 一 〇 二 五 号

軍艦八五剛經費呈請守府より直接送付之
件送附ハ二号シヨテ送附ヨリ系示ニ致
ハ初紙官ニシテ書信ヲ以テ金庫者納後ヨリ回送
レ貴会ハ同時ニ橋子致ヨリ系示前ニ送付
軍艦金剛色計長ノ及交付必要ノ故致取
書ハ呈送者ヨリ回送致向ヨリ一覽上ニ呈
納後ハ送送ハ在場ニ送送此致ハ在場ニ

在場ニ送送

以及ニ在場ニ送送

領事代理 野村 重 殿



野村 重 殿

廿一年十一月廿八日

在ウバシバ日本領事館

10

MT.

513-4

717

5-0068

0076

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

甲圖為三九四号

記

一筆七千四也

此米三十九石附大日本帝國軍糧金圖
已計長安軍六之什焉并常三法

此米金

一筆六千五百拾四也

前日人証

此真貨

右、是鎮守府より請求之信り送付之米の概算
多量銀り迄若葉の葉より及り送付此間其重
海之上、在り多岐、同、一、信り可成り計、り、り、り
三、

以、三、年、九、月、三、日、

金庫方印後

在ウバシク、日本領事館

長銀川田川一印

在ウバシク

銀り代理者印係二印

MT.

513-4

719

MT.

513-4

718

5-0068

0077

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

例文

例文

第十四号

二十五年十一月二十九日

明治三十五年十一月二十九日
同 年 月 日 起算
日 發遣

主任

送附一四九號

付及

海軍大臣青仁禮奉命

外務大臣陸奥宗光

軍艦司令官野村胡堂

外務省

海軍大臣青仁禮奉命

外務大臣陸奥宗光

海軍大臣青仁禮奉命

外務大臣陸奥宗光

海軍大臣青仁禮奉命

外務大臣陸奥宗光

MT.

513-4

721

MT.

513-4

720

5-0068

0078

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

通常

次官

八四

第百三十一号

廿五年十二月廿七日 王

政務局

通商局

記録課

海軍省 送身簿

第百三十一号

帝國軍艦金剛号廻航ノ

本件ニ付別紙ノ通及報告ヲ奉御一閱相成度
此段申進候也

明治三十五年三月八日

在彼考波

領事代理副領事 佐藤 忠

田中 宗

外務次官林董殿

MT.

513-4

722

5-0068

0079

臨時報告

帝國軍艦金剛號當地方ニ廻航ノ件

金剛迴航ノ事、九月上旬ヲ以テ當地方新聞ノ報道ナル所トナリシモ當時其信傳ヲ知ルニ由ナク斯ク其筋ノ通報ニ接シ其迴航ノ事ヲ信スルヲ得タルハ、九月下旬トス

當時當地方諸新聞ニ金剛ノ品海ヲ發シタルハ、九月廿五日ナリト報シタルニ依リテ、此行ハ素ト候補生練習ノカノミアリハ、急論風帆ノ力ニ賴リテ迴航スヘク然ルトキハ當地方ニ未艦スル迄ニ四十五日乃至四拾五日ヲ要スヘキヲ以テ、遂クモ十月下旬ニ當晚香港ニ安着スヘトハ待望スルアリ

果シテ然ルトキハ、十一月三日 天長節ノ祝賀ニ際シ帝國軍艦港内ニ碇泊スルアリ一段ノ光榮ヲ添フルナリトハ在る本邦臣民一月ノ希望スル所ナリキ

時ニエムプレスガフ、ヂヤパン号ハ十月廿九日ヲ以テ當晚香港ニ着航シタルモ途中ニ金剛ヲ見掛ケリト云ヘ、其後安否ヲ知ルニ由ナカリシモノ、數日越エテ其翌十一月 天長節ノ祝賀ヲ了スルモ尚ト何分

ノ未報ニ接セズ時ニ偶々烟ヲ務深クシテ又ヲ發セサル一殆ビト五晝夜ノ久シキニ浮リシカバ、當地方諸新聞ニモ其安否ヲ氣遣フ旨ヲ掲載スルニ至レリ

斯クテ十一月七日ゲインクローバ島所在英國軍港エスクワイモールトニ乘艦ノ上日地方ノ知人ヨリ未電ニ接シタルニ依リ直ニ安着ヲ祝スル旨ヲ艦長ニ向テテ電報シ即日返電ニ接シタリ

然ルニ爰ニ最モ不幸ナルハ、候補生草野春馬ナルモノエスクワイモールトニ於テ病歿セリ就テ諸事チ合、与ノ本官ノ出張ヲ請フ上日艦長ヨリ十一月廿一日電報ヲ以テ依頼シ越セリ時ニ本官ハ、臨モ郵船出帆ノ時日ニ切迫シ居リ多忙最中ナリシモ萬障ヲ差操リ即日便船ニ搭シテ彼地ニ派シ滯留七日諸事結了ヲ俟テ帰任ス

且スクワイモールトハ太平洋沿岸ニ於ケル英國軍港ニシテ内地ニハ常ニ五六ノ軍艦ヲ常駐シテ非常ノ用意ニ備ヘ置キ且ツ造船所病院院軍器貯蔵所海軍埋葬地等ノ設ケアリ要スルニエスクワイモールトノ地一田ハ加東院政府ノ所轄ヲ離レ英國政府ノ直轄ニ屬シ英

MT.

513-4

725

MT.

513-4

724

二十六年一月十三日

記録課長

送第 二九

〇軍艦廻航模様

帝國軍艦 金剛号 ヲアメリ

〇〇地方廻航模様ニ付全地駐在帝國領事代理

副領事 能勢 平郎 鬼頭 清二郎 ヲ去月一日

附ヲ以テ右ノ如ク報告スリ (外務省)

カク

MT

7.23

5-0068

0001

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

国水師提督之ヲ統督ス

故草野候補生之遺體ハ水師提督ニ請フテ海軍埋葬地ニ埋葬
シ今日公葬シケルニ金剛皇親復及水官並ニ英國海軍士官及其
樂隊モ亦皆公式ヲ以テ共ニ公葬シ又埋葬地ハ海軍埋葬地中ノ最
良ナル場所ヲ擇フハシノ異ツ漁料ニテ之ヲ供フル等英國海軍ノ志
實ニ謝スルニ餘アリ金剛ノ古日臺地ニ於テ祭文ヲ朗讀シケルハ海軍
大尉津田三郎ニシテ内外ノ公葬者皆注目ヲ著テ謹聴ス

斯ノリ金剛ハ十一月十日夕ヲ以テ香波ニ来艦シ居ルハ八日
月ニナリ日未明奈港ニ向テ解纜セリ

抑モ帝國軍艦ノ当地方ニ廻航シケルハ三三年前叔柔ノ来艦シケルヲ
以テ初度トナスモ當時晚香波ハ尚大印度人ノ巢穴屈ニ過クヌ素ト
リ今日日ノ市街ヲナスニ至ラザリシガハ叔柔ハガクトリヤニ寄港セシノミト
云フセハ帝國軍艦ノ当地香波ニ廻航シケルハ此度金剛ノ来艦ヲ
以テ實ニ短矢トス

当地方ノ氣候トシテ毎年此交ニ於テ連日連夜降雨日ヲ止ム

コトナリ常トスルニモ均ハラス夏来艦アルヤ否ヤ艦内ノ来觀ヲ請フモノ
毎日教名ヲ以テ美シシ隨テ見接待モ容易ノ業ニアラストハ見玉ケ
タリ

金剛碇泊中ノ当地在留ノ各団領事市長等ハ皆公式ノ訪問ヲ為
シ船中ニ出地ノ市長市長参事會員等ハ合奏ノ催ヲ閉テ艦長以下
士官候補生一同及水官ヲモ招待シ又加樂院鑛道會社ノ監
督アボットハ特別通行券ヲ艦長ニ贈リテ樂院鑛道ノ乗車
用ニ供シ土地ノ官商カトーハイマク兄弟及紳商輩ハ特別電
氣車ヲ發シテ艦長士官及水官ヲニウケエトミニスターニ招待シ以
テ見電氣鑛道ノ仕掛ケ等ヲ一覽セシノ尚大門口ニ市長及重主
タル紳士輩モ出迎ヒ来リテ来艦ノ榮ヲ慰メタリ

又米國華盛頓州タコマ商業會議一所ヨリモ水官ニ死ニテ電音
ニ郵信ニ招待状ヲ寄セ彼地ニ金剛ノ来艦ヲ望ム旨ヲ申出タルモ
金剛ハ都合上彼地ニ寄港スルニエトラ得カル旨ヲ返報セリ
斯ノリ金剛ハ十一月廿八日(月曜日)夜七時ヲ以テ当地ノ紳士貴婦人

MT.

513-4

727

MT.

513-4

726

魚度二名五六拾名余ヲ艦内ニ招待シテ進食ヲ供シ餘興ニ水兵
 ノ手踊ヲ奏番程言事ノ備アリテ事案何レモ先令ノ歡ヲ設けし
 テ退散セリ此日当晚香港政市ノ樂隊ハ其學ヲ息上艦内ニ參
 集シ合奏ヲ催シテ在ノ一興ヲ添エタリ
 又当晚香港政市ノ事案會ハ市長兼參事會及市民ヲ
 艦内ニ招待シ懇篤ナル接待ヲ受ケタル段ヲ深謝スル旨ヲ一
 昨四日議決シタリ之ハ素カラズ水官ヲ送テ右ノ謝状ヲ艦
 長ノ許ニ發送スルコトナルヘシ
 此度東組ノ送貨ハ上十合シテ三石四十二名内正官二十一
 候補生四十九名外水兵トス滞在エヌクワイモールト及当地ニ
 參事ノ同到ハ一人ノ醉狂者ヲモ見ルコトナリ隨テ市民ヨリ
 何等ノ苦情ヲモ訴フルモノナク却テ到處百子ニ思ハレテ優待
 セラレタルハ蓋シ他國ノ海軍ニ見比テ視ル所ニシテ当地ノ人々ハ
 之レヲ評スルニ紳士タルニ取テナルノ行ヲナリトノ賞賛ヲ以テスルニ
 至レリ是レ畢ス見平素訓練統督見直シキヲ得能ク規律
 ヲ遵守スルノ良習慣タルニ外ナラサルヘキカ
 蓋シ此度ノ迴航ハ素トヨリ練習ノ目的ニ出ルト密氏之レカ為テ
 將来直接間接有形無形ニ有益ナル影響ヲ波及スルコト
 少クナラサルヘク直接有形ニハ帝國海軍ノ進歩士官ノ熟練
 等ヲ有形ノ外邦ニ示スニ足リ隨テ國同國積ヲ擴張
 スルノ一助トナルヘク間接無形ニハ見影編音ニ所公私ノ交際
 上ノ人々ノ氣愛上一種微妙ノ感情ヲ引起シ裨益スル所
 亦ク將來ニ消滅セザルヘシ
 殊ニ此度回航先ヲ当地方及他太平洋沿岸ニシテ
 此際擇リ宜直シキヲ得タルモノト云ハサルヘカラス爰ニ理由ヲ
 略説セシメ是レ近畿回報導ニ置タル通リ太平洋沿岸ノ
 在る本邦臣民ハ米國東部若クハ歐洲滞在ノ留學生等ト
 ハ全ク異種類ヲ異ニシテ所謂勞働者ニシテ多クハ魚産魚諸
 只勞働ヲ是レ事トスル社会ニ屬スルヲ以テ往々支那人ト一視
 セラシ隨テ茲今ノ輕侮ヲ免レサルコトモナキニテラス爰ニ畢ス見

MT.

513-4

729

MT.

513-4

728



在商人ヲ奉ケテ下流社会ノ勞働者タルカ故ノミ盡シハ今新
如キ状況ノ地ニ沁スルニ帝國軍艦ヲ以テシ為メ在商人ノ光榮
ヲ添ヘ為メ土地ノ人民氣受上ニ良キ感情ヲ興エタルハ頗フル
策ノ得タルモノトコソ信ス

蓋シ此後ト云ヒ練習艦汎遣ノ場合ニ於テハ先ツ外務大
臣ト海軍大臣ト熟談協議ノ上其汎遣ノ地ヲ擇ビ定メセシメ
當時ノ必要ニ應ヒテ廻航先ヨリ一定シテ外務海軍ノ目的ヲ
共ニ母見通セシムル方然レハキノ策ト信ス殊ニ海外移民出稼
ノ必要アル我國ニ航路ノ常ニ兩者ノ為メ所一途ニ出テ在外臣民
ノ為メニ間接直接ニ其裨益ヲ増進スルノ策ヲ運ラザレバ功
望ノ至ニ堪ヘス

今度金剛ノ末航ニ付テハ滯泊殆コト一ヶ月ノ間ハ候補生埋
葬ノ世話諸方ハノ案内在会室内以テ發送接待ノ事合夏他
大小諸般ノ周旋等ニテ軍艦甲務ノ外ハ殆コト他事ヲ為ス
ニ違ナリ昼夜共領事館ノ多クハ宜ニ豫想ノ外ニ出ラズ

MT 513-4 730

5-0068

0004